

と

た

よ



ち

美肌通信



11月号



カ

カ



VO. 100

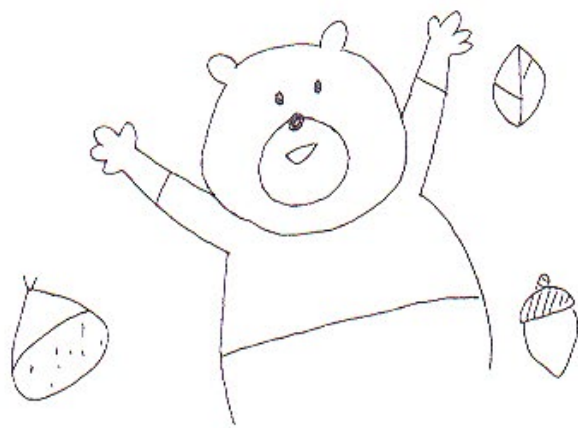
November

とよたち美肌通信11月号！ なんと！今月号で
“100回目”を迎える事ができました！ ありがとう
ございます😊 今後もよろしくお願いいたします。

記念すべき今月号の表紙は、美味しそうなりんごと
リボンがかわいらしいうさぎちゃんが楽しそうに
パーティーをしている絵です♡♡

絵本を読む事や、英語のお勉強をする事
が好きで、アイロニズで虫工のキーホルダーを
使う事が得意な、おてっぺいをしてくれる
しっかりものの女の子が描いてくれました！
ありがとうございます。

院長はじめスタッフ一同
バリエ感謝いたします。



昨今 痛感すること。人生は堪え忍ぶ
ことに尽きる。これを、忍を懐^{いだ}いて慈^いを行^ぎず、
「懐忍行慈」という。

「忍は安宅^{あんたく}為^たり」 堪え忍ぶことこそ
安らかな家であること。

「忍は大舟^{たいりゆう}為^たり、以て難^{かた}きを渡^{わた}るべし」
忍は大きな船の様に困難な世の
中を渡^{わた}り、こゆるものである。

「世は怖^{おそ}む所^{ところ}なし、唯^{ただ}だ忍^{しの}のみ恃^たむべし」
忍こそがこの世の頼^{たの}りとするべきもの
であること。

「忍を懐^{いだ}いて慈^いを行^ぎずれば世々^{うき}怨^{うら}み
無し。中心^{ちんせん}恬^{てん}然^{ぜん}として終^{つい}に悪^{あく}毒^{どく}無し」

自分の身に降りかかったことは堪え忍ん
でむらがる自分に辛くあたる者こそかえって
気の毒であると、逆に慈悲の心で思
いやれば、

どんな時代にあっても怨みの心は
起こらないし、心はいつも穏やかで
悪いことは起こらない。

万人に仏心は備わっていると仏教では
説いている。ただ「残念なことに目先のこと
に心を奪われてしまい、仏心を忘れる。
このことが仏からすれば「気の毒なこと」
あるのだろう。

院長、拝